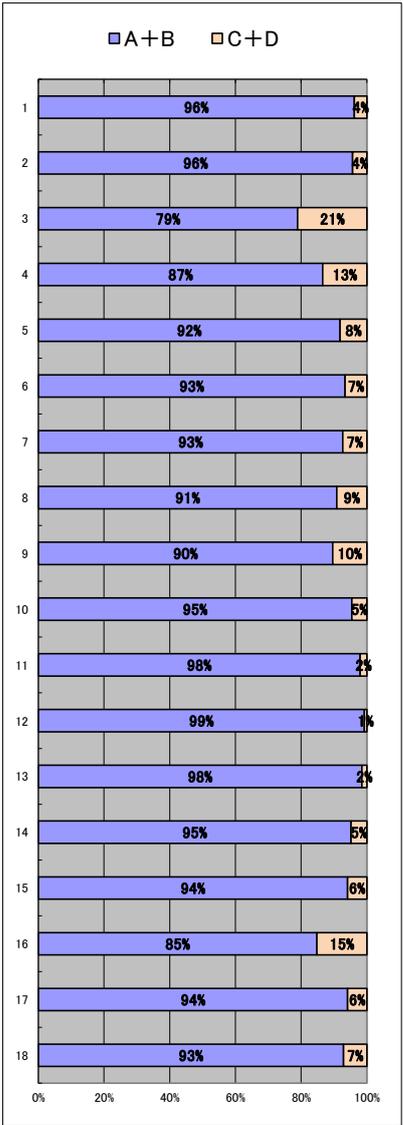


令和8年度の学校づくりに向けて
 -令和7年度後期学校評価アンケートの結果-

学校生活に関するアンケート集計(生徒)

項目	評価					割合		今年度前期		
	A	B	C	D	合計	A+B	C+D	①+②	③+④	
学習自己評価	1 授業開始2分前に着席し、授業の準備をしている。	248	131	15	0	394	96%	4%	98%	2%
	2 授業中は先生や友達の話当真に聞いたりノートを丁寧に取ったりしている。	211	166	15	2	394	96%	4%	94%	6%
	3 宿題や提出ノートは毎日提出している。	176	135	59	24	394	79%	21%	79%	21%
授業評価	4 先生方は、チャイムとともに教室に来ている。	110	231	49	4	394	87%	13%	84%	16%
	5 先生方の授業はわかりやすい。	164	198	28	4	394	92%	8%	96%	4%
	6 授業では、自分の考えなどを書く場面がある。	198	170	24	2	394	93%	7%	87%	13%
	7 授業では、友達と考えを話し合う場面がある。	179	137	23	2	341	93%	7%	93%	7%
生活自己評価	8 学校での生活は楽しい。	257	101	29	7	394	91%	9%	90%	10%
	9 さわやかなあいさつができています。	218	135	31	10	394	90%	10%	89%	11%
	10 時間を守った生活ができています。	216	160	18	0	394	95%	5%	95%	5%
	11 友達の良い考えを考えた行動をしている。	246	140	8	0	394	98%	2%	96%	4%
	12 服装を整え、生活の決まりを守って生活している。	321	70	3	0	394	99%	1%	99%	1%
	13 無言清掃や給食当番など、自分の分担に責任をもって取り組んでいる。	291	97	6	0	394	98%	2%	98%	2%
	14 生徒会活動や学校行事に積極的に参加している。	239	136	19	0	394	95%	5%	90%	10%
15 部活動(またはそれにかかわるもの)に意欲的に取り組んでいる。	267	53	8	12	340	94%	6%	92%	8%	
生活評価	16 悩みなどの相談に乗ってくれる先生がいる。	165	169	41	19	394	85%	15%	81%	19%
	17 先生方は、生活の3重点を意識して生活している。	189	182	23	0	394	94%	6%	95%	5%
	18 学校は、命の大切さや社会のルールを教えてくれる。	225	141	23	5	394	93%	7%	94%	6%
平均						93%	7%	92%	8%	



○授業評価の項目6については、A+Bの割合が前期よりも6ポイント上がりました。近年の長野県高校入試でも、わかったことや自分が考えたこと記述する問題が多くなっています。高校入試を見据える上でも、引き続き日常の授業から「書く」力を身につけられるように指導してまいります。

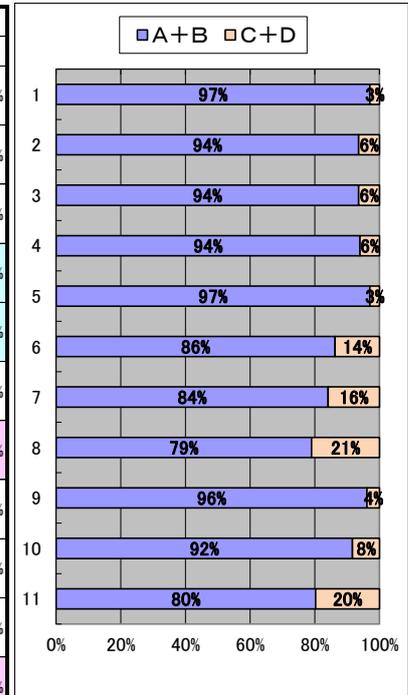
○生活自己評価の項目14では、A+Bの割合が前期よりも5ポイント上がりました。後期は鳳祭に向けての活動を通し、クラスや学年、全校でのつながりが強くなったと感じています。生徒会役員をはじめ、3年生が全校での活動をリードしてくれました。また、そこに協力しようとする1、2年生の意欲的な取り組みも見られました。後期の大きな成果と考えます。

○学習自己評価の項目3については、他の項目と比較してA+Bの割合が低く、80%に達していません。家庭学習の習慣をつけられるように、家庭学習の必要性やメリットを全職員が共有していきたいと考えます。ただし、「やらされる学習」になってしまうと効果は薄くなります。自発的に取り組めるように、どのように意識を高められるかについて、今後も追究してまいります。

○生活評価の項目16については、A+Bの割合が前期よりも4ポイント高くなりました。来年度も年に2回の教育相談を設けるとともに、日常から生徒1人ひとりの声に耳を傾けながら、相談しやすい雰囲気づくりを心がけ、100%に近づいていけるように努めてまいります。

教育に関するアンケート集計（保護者）

項目	評価					割合		今年度前期	
	A	B	C	D	合計	A+B	C+D	A+B	C+D
1 学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。 (学校だより、学校要覧、講話など)	117	109	6	1	233	97%	3%	96%	4%
2 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	87	131	13	2	233	94%	6%	93%	7%
3 学校は、生徒の悩みや相談に対応してくれる。	89	129	11	4	233	94%	6%	90%	10%
4 学校は、家庭への連絡等、丁寧に行っている。	122	97	12	2	233	94%	6%	90%	10%
5 学校・学年・学級便りなどの学校からの情報は、適切な内容である。	139	87	6	1	233	97%	3%	97%	3%
6 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	113	88	26	6	233	86%	14%	88%	12%
7 子どもは、さわやかな挨拶ができています。(学校や地域で)	78	118	34	3	233	84%	16%	82%	18%
8 子どもは、時間を守った生活をしている。	70	114	45	4	233	79%	21%	81%	19%
9 子どもは、中学生にふさわしい服装や態度で生活している。	140	84	7	2	233	96%	4%	98%	2%
10 子どもは、部活動に意欲的に取り組んでいる。	126	28	6	8	168	92%	8%	91%	9%
11 子どもは、授業が分かりやすいと感じている。	38	149	38	8	233	80%	20%	78%	22%
平均						90%	10%	89%	11%



○全般的に、前期よりもポイントが向上しています。引き続き、保護者の皆様との信頼関係を大切にしながら、生徒の心身の育成に努めてまいります。

○項目4・5に関わって、多くの保護者の方々からA+Bの評価をいただいておりますが、「テトルの配信量が多く、重要なお知らせが埋もれてしまったり、把握しきれなかったりと困っています。」「保護者に確実に届けたい情報は紙で配布も検討してください。」というご意見もいただいております。本校だけでなく、上田市全体で紙ベースでの配布を必要最小限にとどめ、配信を中心に情報発信していく方針です。ただし、今後も紙ベースでの配布が必要と判断した内容については、引き続き紙ベースで配布させていただきます。テトルで配信した内容について、紙ベースでの配布を希望される場合には、学校にご相談ください。

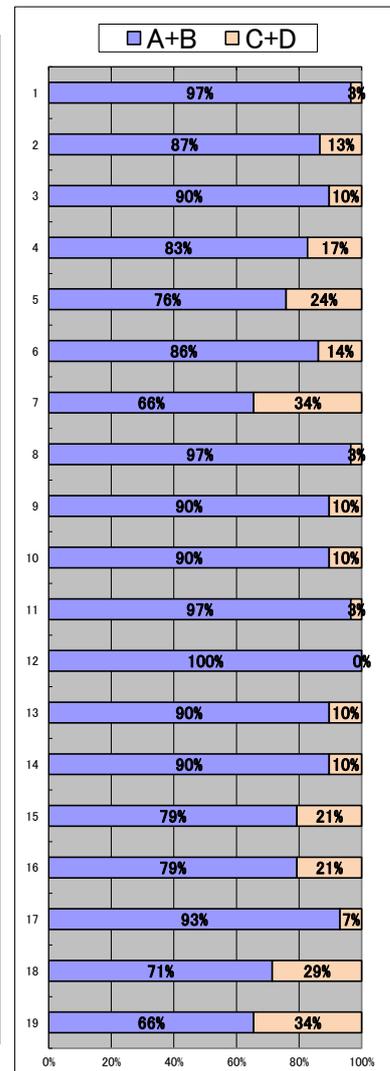
テトルでの配信内容について「訂正が多いので、確認してから配信してほしい」というご意見もいただきました。今後はできる限り訂正が出ないように、複数の目で確認した上で配信するように努めてまいります。申し訳ありませんでした。

○項目7については、A+Bの評価が前期と比較して2ポイント上がったものの、依然として昨年度や一昨年度と比較するとやや低い状況です。今回のアンケートで保護者の方から「あいさつが以前よりも少なくなった」というご意見をいただいたことに加え、学校運営委員の皆様からも同様のご指摘をいただきました。生徒会活動を始めとする諸活動と連携しながら、私たち職員も率先してさわやかなあいさつを心掛け、生徒とともにあいさつの向上に励み、あいさつで溢れる五中を目指してまいります。

○項目11については、A+Bの評価が他の項目に比較すると低くなっています。より多くの生徒に「わかりやすい」と感じてもらえるような授業を目指し、教職員が常に日々の授業を振り返りながら、指導の改善に努めてまいります。また、今年度以上に互いの授業を見ながら研鑽し合う時間を確保できるように、学びの改革を推進してまいります。

教育に関するアンケート集計（教職員）

項目	評価					割合		今年度前期	
	A	B	C	D	合計	A+B	C+D	A+B	C+D
1 1時間ごとの授業や単元でのつづける力の明確化。	11	17	1	0	29	97%	3%	93%	7%
2 学び合う授業場面の設定と個に応じた学習指導の工夫。	7	19	4	0	30	87%	13%	90%	10%
3 生徒ひとり一人の学びを把握し、個を支援する授業	7	19	3	0	29	90%	10%	90%	10%
4 自己評価や相互評価を取り入れた評価（見返し場面の工夫）	5	19	5	0	29	83%	17%	66%	34%
5 自分の姿を追求するための体験を通じた授業	9	13	6	1	29	76%	24%	86%	14%
6 中人権宣言に基づいた人権同和教育、道徳教育の推進	9	16	4	0	29	86%	14%	93%	7%
7 体験を取り入れた総合的な学習の時間の内容の充実	6	13	10	0	29	66%	34%	90%	10%
8 意見を言い合える場の設定	9	19	1	0	29	97%	3%	90%	10%
9 朝の読書、読書時間中の一斉読書の推進	17	9	3	0	29	90%	10%	97%	3%
10 生活の3重点、部活動の重点の深化	10	16	3	0	29	90%	10%	97%	3%
11 規範意識の醸成と生命を尊重する指導の充実	11	17	1	0	29	97%	3%	91%	9%
12 生徒の訴えや申し出に対する受け止めと即時対応。	15	14	0	0	29	100%	0%	97%	3%
13 カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導（よ〜く観る、よ〜く聴く）	12	14	3	0	29	90%	10%	100%	0%
14 学校だより、学年だより等の定期的な発行とHPの更新	10	16	2	1	29	90%	10%	86%	14%
15 学校公開の実施と地域講師等の有効活用	7	16	5	1	29	79%	21%	79%	21%
16 学級、学年PTAの充実と地域の方々との懇談	10	13	5	1	29	79%	21%	86%	14%
17 個に応じた指導法の工夫と指導計画の見直し	10	17	2	0	29	93%	7%	86%	14%
18 見合う授業参観やミニ研究会による指導方法や技術の研究	6	14	7	1	28	71%	29%	72%	28%
19 公開授業や外部研修会への積極的な参加	6	13	7	3	29	66%	34%	66%	34%
平均						85%	15%	85%	15%



○教育活動の項目4、項目8については、いずれも前期よりもポイントが上がっています。授業内だけでなく、学級活動や生徒会活動においても、意見を言い合える場や、自己を評価する場、互いを評価し合う場を大切にまいります。その中で、自分自身をよく振り返って行動を改めたり、考えの幅を広げたり、考えを深めたりすることができるように指導してまいります。

○教育活動の項目7については前期からポイントが低下していますが、後期の総合的な学習の時間（鳳の時間）は、1、3年生は「上田学」と題して調べ学習をおこない、2年生は修学旅行に向けての調べ学習が中心になっています。体験的な活動の時間はなかなか確保できていませんが、その分前期は自然体験学習、職場体験、修学旅行といった学年行事があり、さまざまな体験ができるようカリキュラムを編成しております。

○学校運営の項目18、項目19については、前期同様にポイントが低くなっています。研修会等への参加について、なかなか時間が取りにくい中ではありますが、個々に研修を積むことはもちろん、教職員同士が互いに研修し合う（互いの授業や学級経営を見合う）機会を設け、校内研修についても充実を図ってまいります。また、そこで得たノウハウを生徒への支援や理解につなげてまいります。

学校評価アンケートでは、『学校への要望』等の記述欄に貴重なご意見を多数いただきました。ありがとうございました。いただいたご意見を真摯に受け止め、教務会や職員会でしっかりと検討しながら、今後の学校運営に生かしてまいります。

今後とも、第五中学校の教育活動にご理解とご協力をお願いするとともに、些細なことでも学校にご意見やご連絡をよろしく願います。